つめかえインク取扱説明書（ボール栓落とし方式）

INK-C320･C321シリーズ（500ml）共通

必ず本取扱説明書を読んで、正しく作業を行ってください。

対応インクタンク

キヤノン　BCI-320PGBK　321BK　321C　321M　321Y

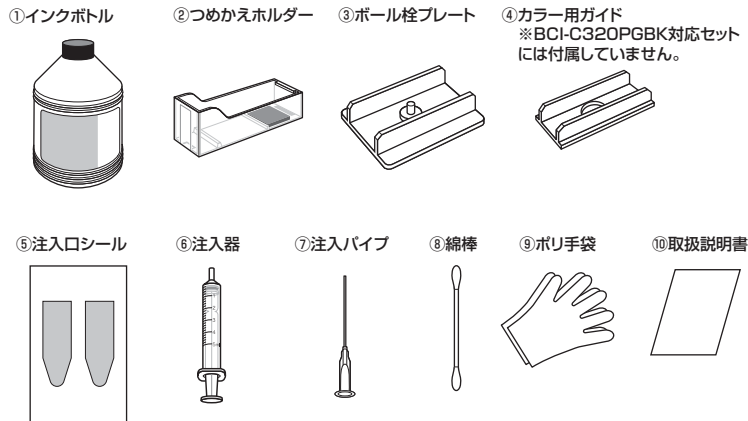
対応プリンタ

PIXUS　MP990　MP980　MP640　MP630　MP620　MP560　MP550　MP540
iP4700　iP4600　iP3600

※上記は、対象カートリッジに対応する全てのプリンタです。各インクの対応プリンタはパッケージをご覧ください。

セット内容（数量はパッケージをご覧ください。）

①インクボトル　②つめかえホルダー　③ボール栓プレート　④カラー用ガイド
※BCI-C320PGBK対応セットには付属していません。

⑤注入口シール　⑥注入器　⑦注入パイプ　⑧綿棒　⑨ポリ手袋　⑩取扱説明書

※つめかえ工具は専用品です。
本製品をお使いいただく時は、他のキヤノン対応つめかえ用工具(ドリルやプラグなど)は使用できません。必ず上記の工具を使用してください。本製品以外では工具の種類が違いますので、不完全なつめかえとなり、プリンタに損傷を与える恐れがあります。

インク成分

・ブラック（顔料）…【蒸留水】50～60%･【グリコール】20～30%･【その他顔料】10～30%
・ブラック…【蒸留水】70～80%･【グリコール･イソプロピルアルコールなど】1～10%･【染料】1～15%
・シアン…【蒸留水】70～80%･【グリコール･イソプロピルアルコールなど】1～10%･【染料】1～15%
・マゼンタ…【蒸留水】60～70%･【グリコール･イソプロピルアルコールなど】1～15%･【染料】15～25%
・イエロー…【蒸留水】70～80%･【グリコール･イソプロピルアルコールなど】1～10%･【染料】1～15%

○注意事項

●つめかえをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全なつめかえや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
●他社製つめかえインクと混合･併用したインクタンク、再生･互換品のインクタンクにつめかえて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。
●BCI-320PGBK、BCI-321シリーズのICチップ付インクタンクは、インクをつめかえてもチップエラーなどが発生した場合は使用ができなくなります。つめかえたこととインクタンクのICチップエラーは関連がありませんので、製品補償などの責はご容赦くださるようお願いします。

○使用上の注意と保管について

●本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては、取扱いに注意して、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ったりしないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
●注入パイプは金属製です。使用の際はご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ、小児･幼児の手の届かない所で保管してください。
●子供の手の届く所に置かないでください。
●飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けてください。
●目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
●インクは開封後1年以内にご使用ください。
●つめかえした後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりして、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

○製品について

●本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
●本製品はキヤノン(株)とは無関係で、承認を受けたものではありません。
●製品上の原因による品質不具合が認められました場合は、同数の新しい製品と取替えいたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いします。

各部の名称

インクタンク

●BCI-320PGBK

●BCI-321シリーズ

※純正カートリッジに貼ってあるシールは絶対にはがさないでください。

つめかえホルダー

ホルダーはつめかえ作業とインクタンクの一時的な保管用としてお使いになれます。保管についてはつめかえ手順⑨の「ホルダーを保管用として使う方法とお願い」を参照してください。

注入器･注入パイプ

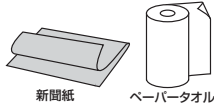
○安全上の注意
注入パイプは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ(箱)に入れ小児･幼児の手の届かないとこにで保管してください。

つめかえの前に必ずお読みください

インクの残量表示について	インクタンクの特性上、つめかえたインクタンクを取付けると下記のようになります。 ①インクの残量は表示されません。 ②インクランプ(赤)が点滅していたインクタンクは、つめかえ後も同じように点滅となり、点灯にはなりません。 ③パソコンやプリンタの画面に(X)や(!)が表示されていたインクタンクは、つめかえ後も同じような表示となりマークが消えません。 ※インクが無くなった状態でもプリンタからのメッセージは表示されません。 ※残量の確認はインクタンクをプリンタから取出して、実際のインク量を見てください。インク切れとならないよう、早めに次のつめかえを行ってください。
インク残量検知機能の無効操作	無効操作を行うことで、インク残量は表示されなくなりますが、印刷は通常通り行えます。残量や残量検知についてのエラー表示でプリンタが一時停止状態となった時に、本取扱説明書のつめかえ手順のあとの『印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作』を参考に行ってください。 ※この操作はエラーでプリンター時停止したタイミングで行います。事前の設定はできません。 ※この操作による表示解除はつめかえて使用したインクタンクだけであり、新品の純正インクタンクを取付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。

※インクをつめかえたインクタンクやそれを使用したプリンタは、メーカーよっては不正改造にあたるとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不明点、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。
※インクタンクのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

準　備

つめかえの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。

使用するインクタンク

純正インクタンクにつめかえてください。
以下のものは対応していませんので、使用しないでください。
■再生品インクタンク
■互換品インクタンク
■他社つめかえインク使用品

つめかえ回数（推奨限度回数）

つめかえによるインクタンク再使用は3～4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

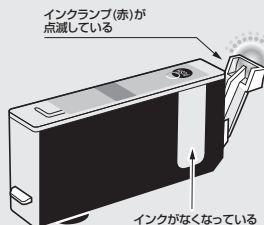
つめかえ作業

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

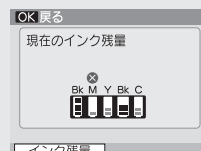
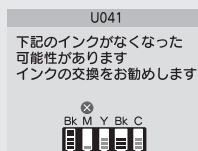
つめかえのタイミング（インクタンクに初めてつめかえする）

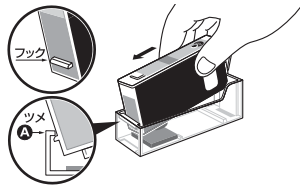
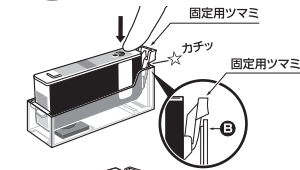
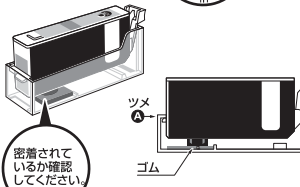
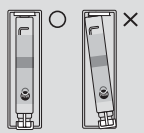
初めてインクタンクにつめかえをするタイミングは、パソコンや液晶モニターに「インク切れ(×)」のマークが表示され、インクタンクのインクランプ(赤色)が点滅し、実際にインクが無くなった時に行ってください。

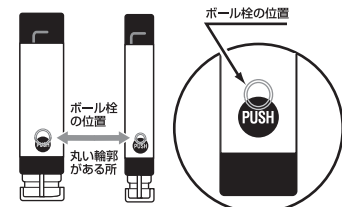
※インク残量表示が「インクが少なくなっています(!)」の場合でもつめかえられますが、印刷を続けると(×)となります。また、インクの残り量が多いとインクが漏れて作業が出来ない場合があります。

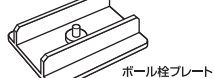
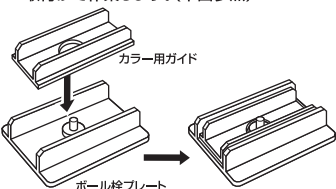
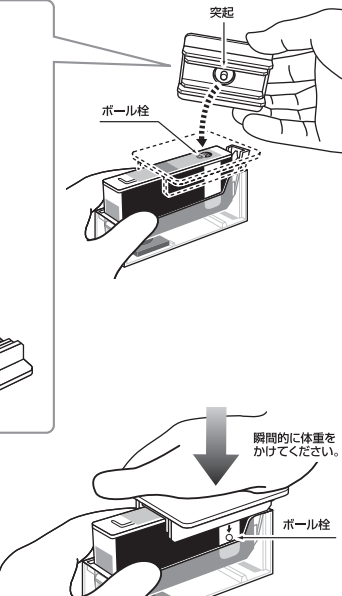
[インクタンクの状態]

[パソコンモニター]の表示

[液晶モニター]の表示

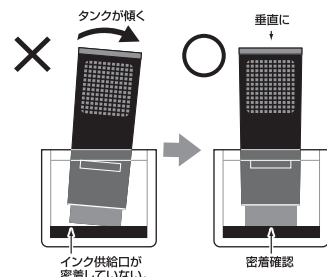
つめかえの手順

1 インクタンクをつめかえホルダーに固定する

1.インクタンクの図で示す所にフックがあります。
フックをつめかえホルダー(③)のツメAの下に差し込むように入れます。

2.インクタンクの PUSH 部分を押して、固定用つまみがツメBに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。

3.インクタンクがツメA・Bに固定され、インク供給口がホルダー底側のゴムに全体に密着していることを確認してください。

⚠ 注意
カラーインクタンクは斜めに固定されないようにしてください。

2 インクタンクのボール栓を落とし、インク注入口をあける

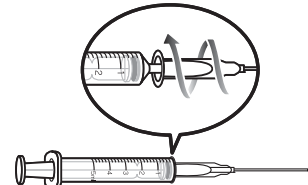
1.ボール栓の位置は、イラストの矢印で示す丸い輪郭の内側にあり、"PUSH"マークと重なっています。ボール栓を中に落として穴をあけて、インクをつめかえる注入口とします。

2.ボール栓プレートの突起をボール栓の位置に合わせて、インクタンクにセットしてください。

※ボール栓プレートについて
BCI-320PGBKの場合
…ボール栓プレートだけで作業します。

BCI-321シリーズの場合
…カラー用ガイドをボール栓プレートに取付けて作業します。(下図参照)

3.手のひらの手首に近い所をプレートに乗せて、体重を瞬間的にかけて押し込みます。その力でボール栓が中に落ちます。

※ボール栓はインクタンクの中に残りますが、インクの流れなどに支障はありません。

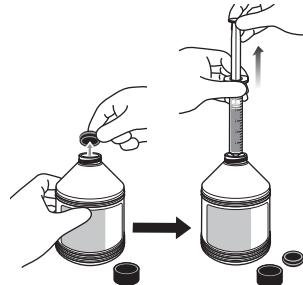
ボール栓の抜けた穴が注入口となります。

⚠ 注意
作業でインクタンクが傾き、インク供給口とつめかえホルダーの漏れ防止ゴムの密着が離れることがあります。
この状態ではインクつめかえ時に、インクが漏れる恐れがありますので、インクタンクを垂直になおして密着を確認してください。

3 注入器に注入パイプをつける

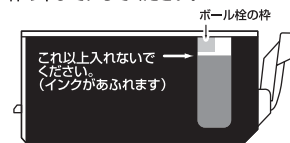
注入パイプを注入器先端に差し込み、強くねじ込んでください。

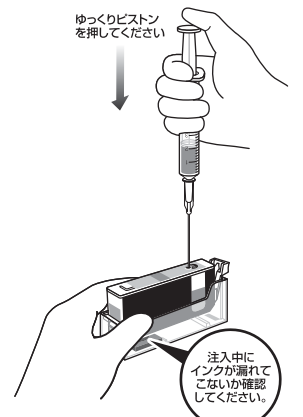
⚠ 注意
ねじ込み方が弱いと注入中にインクが漏れたり、パイプが外れたりして、インクが飛び散る場合があります。

4 注入器にインクを移し替える

※手袋を着用してください。
1.インクボトルのキャップを取り、ゴムキャップを外します。
2.注入器を差し込み、インクを注入器に移し替えてください。

※注入器の容量は5mlのため、つめかえする量に応じて何回かに分けて移し替えてください。つめかえが済んだらゴムキャップとキャップを元に戻してしっかり締めてください。

5 インクを注入する

注入口に注入器の注入パイプの先端を1cmほど差し込み、ピストンをゆっくりと押しながらインクを注入してください。

※インク注入の上限はボール栓が付いていた枠の下までにしてください。

○インクの注入量の目安
BCI-320PGBKの場合…約10～12ml
その他のインクタンクの場合…約6～8ml

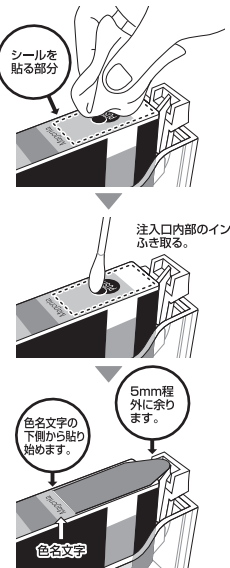
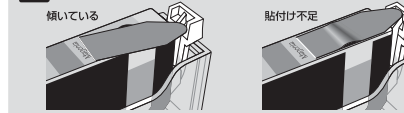
※上記の注入量はインクを使い切ったときの推定平均量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。おおむね、1回目は多く、2回目以降徐々に少なくなります。

6 インクをふき取り、注入口をシールで密封する

重要 重要な作業です。確実に行ってください。

シールを確実に接着するために、貼付ける部分や注入口の内部に付いたインク・ホコリ汚れなどをティッシュペーパーや綿棒などできれいにふき取ってから、付属の注入口シールを注入口に貼り密封してください。
※最初に水で湿らせたティッシュペーパーや綿棒で拭き、すぐに乾拭きをすると完全にインク汚れをふき取れます。

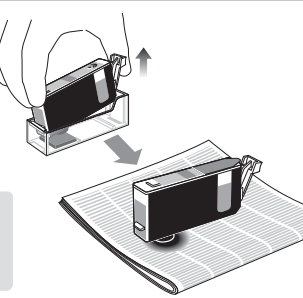
シールの貼り方

※不完全なシールの貼り方は密封効果がなく、インク漏れが発生してインク漏れが発生して印刷が正常に行えなくなる可能性があります。貼付け後、手順⑦でよく確認してください。

⚠ 注意 下図のような貼り方にならないようにしてください。

7 インクタンクをホルダーから外し、余分なインクを除く

インクタンクの固定用つまみを押し、つめかえホルダーから外してください。
新聞紙やペーパータオルなどの上に置くと、インク供給口から少量の余分なインクが漏れて来ますが、10～20秒ほど経過すると内部のバランスがとれ、それ以上は漏れて来なくなります。
インクの漏れがないことが確認できたらつめかえ完了ですので、プリンタに取付けてください。

⚠ 注意
インクが漏れたままの状態でプリンタに取付けた場合、プリンタの故障や印刷不良などの原因となりますので、取付けないでください。インクの漏れが止まらない場合は、シールの貼り方に問題がないか再度確かめてください。

裏面へつづく⇒⇒⇒

8 つめかえたインクタンクをプリンタにセットする

インクタンクをプリンタに取付けた時は以下の状態となります。
❶インクタンクの赤ランプ、点滅している。
❷パソコンの画面、(!)または(×)マークを表示。(iPシリーズ)
❸プリンタの液晶画面、(!)または(×)マークを表示。(MPシリーズ)
(インクタンクの特性上、インクが入ってもインク残量の記録が復元されないため、残量表示はつめかえ前と同じ表示となり、復帰されません。)このとき、プリンタのエラーランプ(オレンジ色)が消灯していれば印刷が可能な状態ですので、印字テストや印刷実行操作をしてください。

プリンタのエラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している。または液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されている場合は、次の「印刷続行とインク残量検知機能無効の操作方法について」の手順で対処してください。エラーが解除され、印刷が可能となります。

❶
❷
❸
※上記以外の点滅回数やエラー番号が表示され、インクランプ(赤色)が消えている場合は、他のエラーが予想されます。トラブルシューティングを参照してください。

9 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について

つめかえたインクタンクはその特性上、使用中にインク残量に関するエラー表示され停止します。このエラーは、プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している、液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されて停止しますので、表のプリンタに対応した説明内容に従いボタン操作をすればエラーが解除され、印刷が可能となります。

MP990/MP980/MP640/MP630/ MP620/MP560/MP550/MP540	MPシリーズ説明へ
iP4700/iP4600/ iP3600	iPシリーズ説明へ

※操作はエラーが現れ、停止した時に行ってください。インクタンクを取付けてすぐに現れない場合もあります。

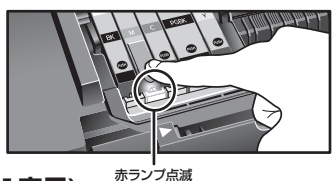
※印刷の続行操作をしても残量表示の(!)や(×)のマークは消えませんが、印刷は可能となります。
※インク残量検知機能の無効操作のあとは残量表示されませんので、インクタンクのインク量に注意してください。
※インクタンクを新しいもの、または、別のものに交換すれば、そのインクタンクのインク残量が表示されます。

MPシリーズ説明 MP990・MP980・MP640・MP630・MP620・MP560・MP550・MP540

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取付ける

つめかえたインクタンクをプリンタに取付けても、赤ランプは点滅した状態となります。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

※インクタンクをプリンタに取付けた後、操作パネルのエラーランプが消えていて、エラーメッセージが現れていなければ、印刷が可能です。印刷をしていてエラーやメッセージが出たときに下記の操作してください。

赤ランプ点滅

❷つめかえた後の印刷続行操作(U041表示)

つめかえたインクタンクをプリンタに取付けた後、操作パネルのエラーランプが点灯していて、液晶モニター表示が①のインクがなくなった時と変わっていない場合は、操作パネルのOKボタンを1回押してください。エラーランプが消え、液晶モニターが②の表示となり印刷続行が可能となります。

この操作をしても(×)マークが表示されたままとなりますが、OKボタンの操作によりエラーが解消されたので印刷が続行できます。

〈イラストはMP620・BCI-7eMの例〉

【液晶モニターの表示】

①
OKボタン1回押し　エラーランプ点灯

U041
下記のインクがなくなった可能性があります
インクの交換をお勧めします
Bk M Y Bk C

②
エラーランプ消灯

OK 戻る
現在のインク残量
Bk M Y Bk C
インク残量

印刷続行が可能な操作パネルと液晶モニターの表示

❸インク残量検知機能エラーの表示(U130表示)

印刷続行が可能となった後にプリンタが停止し、液晶モニターに右のようなメッセージとエラーが表示され、操作パネルのエラーランプが点灯した状態となりましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行なってください。

エラーランプ点灯

該当のインクタンクを表示　エラー番号(U130)を表示

❹インク残量検知機能を無効にする操作

①ストップボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行なったインクタンクの残量が表示されなくなります。

①ストップボタンを5秒以上押し続ける

②エラーランプ消灯

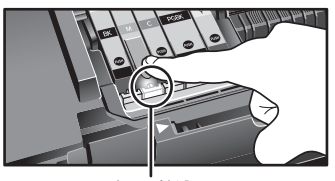
OK 戻る
現在のインク残量
Bk M Y Bk C
インク残量
③残量を表示しなくなる

iPシリーズ説明 iP4700・iP4600・iP3600

基本的にプリンタのエラーランプの点滅回数に応じて、プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取付ける

つめかえたインクタンクをプリンタに取付けても、赤ランプは点滅した状態となります。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

※インクタンクをプリンタに取付けた後、操作パネルのエラーランプが消えていて、エラーメッセージが現れていなければ、印刷が可能です。印刷をしていてエラーやメッセージが出たときに下記の操作してください。

赤ランプ点滅

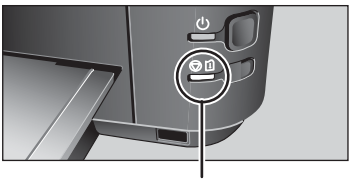
❷つめかえた後の印刷続行操作(エラーランプ4回点滅)

つめかえたインクタンクをプリンタに取付けた後、プリンタのエラーランプが4回点滅していて、エラーメッセージの表示も変わっていない場合は、リセットボタンを1回押してください。エラーランプが消え、パソコンの画面にはエラーメッセージが消え、ステータスモニターの表示のみとなり印刷続行が可能となります。

この操作をしても(×)マークが表示されたままとなりますが、リセットボタンの操作によりエラーが解消されたので印刷が続行できます。

〈イラストはiP4600・BCI-7eMの例〉

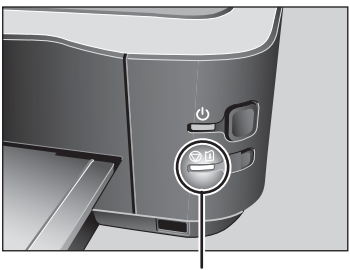
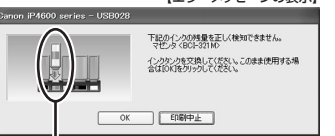
リセットボタン1回押し

エラーランプ4回点滅

【エラーメッセージの表示】
[×]の表示

【ステータスモニターの表示】
エラーランプ消灯

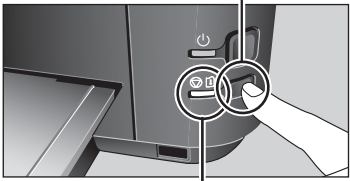
印刷続行が可能な操作パネルと液晶モニターの表示

❸インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)

印刷続行が可能となった後にプリンタが停止し、パソコンの画面に右のようなメッセージとエラーが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅していましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行なってください。

エラーランプ13回点滅

【エラーメッセージの表示】
該当のインクタンクを表示

【ステータスモニターの表示】
❹インク残量検知機能を無効にする操作

①リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行なったインクタンクの残量が表示されなくなります。

①リセットボタンを5秒以上押し続ける

②エラーランプ消灯

③残量を表示しなくなる

⑩ クリーニングと印字テスト

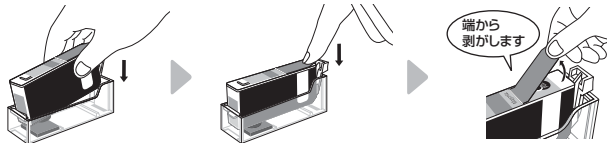
インクタンクをプリンタに取付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。
クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。
※クリーニングの繰り返しはインクタンクの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

●つめかえ回数

つめかえによるインクタンクの再使用は3～4回までが適当です。
それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめかえたインクタンクの使用を止めて、新しいインクタンクをお使いになることをお勧めします。

●2回目からは••••••

インクタンクをホルダーに取付けてシールをはがし、③～⑧の手順でつめかえを行ってください。

⚠注意
剥がしたシールは汚れやシワで接着力がなくなっていますので、再使用しないでください。

●つめかえが終わったら

○つめかえた後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立てて保管してください。
○ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

●ホルダーを保管用として使う方法とお願い

○保管方法　インクタンクをホルダーに取付けます（手順①参照）。
さらに空気の通路に接着テープを貼りつけて、インクタンクを密閉状態にして保管してください。
※インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますので注意してください。

○お願い　長期間の保管用ではありません。インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的（10日に1度程度）にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。

トラブルシューティングQ&A

クリーニングの繰り返しはつめかえたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。
以下の状態のインクタンクでつめかえをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。
1.再生インクタンク、互換品インクタンク、他社つめかえインクと混合、併用などしている場合。（純正新品使用後のインクタンク対応です）　2.つめかえ回数が取扱説明に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったもの。
3.他社つめかえインクや治具・道具を使用したあとのインクタンク。　4.インクがなくなって長い間放置（使用しない）されていて、つめかえ不能なインクタンク。

	症状	確認事項	処　置
インクタンクのインクランプ（赤色）について	取付けたら点滅して点灯にならない。	つめかえ後は点灯となりません。	インクタンクの特性上、インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っていてもランプは点灯とならず点滅となります。プリンタのフタを閉めて、プリンタにエラーランプ（オレンジ色）が点滅（点灯）していなければ印刷が可能です。オレンジランプが点滅（点灯）している場合は、印刷の続行やインク残量検知機能の無効操作をしてください。
つめかえ作業中	インクの漏れが止まらない。	他社のつめかえを先に行っていませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。つめかえ方法や治具の形状が違いますので、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品からつめかえて、本書に記載されていること以外は行わないでください。
	注入中にインクが漏れてくる。	つめかえホルダーの取付け方を確認してください。	取付け方が不完全ではないですか（浮いたり傾いたりしていませんか。）インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	シールを貼った後にインクが漏れている。	他社のつめかえを先に行っていませんか。	シールが注入口に合わないことがあり、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず本品の方法と付属品でつめかえてください。本書に記載されていること以外は行わないでください。
		シールの貼り方を確認してください。	シールの貼り方が不完全ではないでしょうか。インクタンクをホルダーに付け、貼り直すか新しいシールを使用してください。
			余分なインクが残っているか入れ過ぎの可能性があります。インクタンクをペーパータオルなどの上に置き、インク漏れが止まってから使用してください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。（TEL:0120-968-268）	
印刷の時	つめかえた色のインクが出ない。 印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	つめかえ回数が推奨限度回数をオーバーしていませんか。	推奨限度は3−4回までです。つめかえ回数が多くなるとインクタンクのフェルトの中に空気の泡が多くなり、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れやすくなります。新しいインクタンクへの交換をお勧めします。
		インクが漏れていませんか。	インクの漏れはノズルへのインク供給過多となり印刷ができません。シールの貼り方が悪くて空気が入って漏れる、余分なインクが残っていて漏れるなどの可能性があります。それぞれ確認と修正をしてください。
		純正品以外のインクタンクを使用していませんか。	再生インクタンク、互換インクタンクには対応していません。これらの品へのつめかえはインク成分が違うため、インク漏れや印字不良となる可能性があります。純正品インクタンクにつめかえてください。
		他社のつめかえを先に行っていませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合した場合、インク成分が違うためインク漏れや印字不良となり、かすれや出なくなる恐れがあります。
	色合いがおかしい。	ノズルチェック印刷をしてください。	全部のインクが出ているか確認してください。 出ていないインクの色があると、色合いが変わります。上記の「インクが出ない」項目を確認してください。 インクは弊社オリジナルインクを使用しており、同等の色合いとなるよう調整されていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
		（カラーインク） インクタンクの色とつめかえた色とが合っていましたか。	シアンとフォトシアン、マゼンタとフォトマゼンタなど、よく似た色をつめかえてしまう場合があります。このような場合はいったんインクを全部抜いて、本来の色のインクを入れ直し正常な色になるまで印刷する必要があります。
		（黒インク） 2個の黒インクがある場合、入れ違いはありませんか。	BCI−321BKは染料系の黒、BCI−320PGBKは顔料系の黒です。種類が違いますので色合いも違い、互換性はありませんので入れ違えた場合は回復出来ません。印刷不良や思わぬ事故などの原因となりますので使用をやめてください。
		他社のつめかえを先に行っていませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
		用紙のインクが乾いていますか。	用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		用紙や設定が変わっていませんか。	用紙が変わると色合いが違って印刷されます。同じ用紙と設定にしてください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。（TEL:0120-968-268）	
ホルダー	ホルダーに付けていたらインクが漏れてきた。	つめかえホルダーの取付け方を確認してください。	取付け方が不完全ではないですか（浮いたり傾いたりしていませんか。）インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	長い間保管していたらインクが漏れてきた。	長期間の保管用ではありません。	インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと、自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的（10日に1度程度）にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。
印刷の続行と残量検知機能解除操作について	残量検知機能解除の画面表示が現れない。	解除の画面表示は、すぐ現れない場合もあります。	それまでは、つめかえたインクタンクをプリンタに取付けて通常通り印刷が実行されれば、継続して使用できます。
インクタンクエラーの表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅（点灯）して、プリンタ液晶画面やパソコンモニターにインクタンクのエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー番号を確認してください。	点滅回数（エラー番号）が7回（U071）、14回（U140）、15回（U150）の場合は、該当するインクタンクのICチップエラーなどによる認識エラーです。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。 インクをつめかえたこととは関係ありません。
その他のエラー表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅（点灯）して、プリンタ液晶画面やパソコンモニターにエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー内容を確認してください。	点滅回数（エラー表示）が8回（廃インクの表示）の場合は、クリーニングや印刷中に排出される廃インク吸収体が満杯となる表示です。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクをつめかえたこととは関係ありません。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター

tel:0120-968-268
inksupport@sanwa.co.jp

受付時間：月～金（土・日・祝日をのぞく）
9:00～12:00　13:00～17:00
※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。
ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。

お願い　ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

よくあるご質問　インク量が表示されない。（×）や（!）が消えない。赤ランプが点滅している。 → つめかえ手順⑧「つめかえたインクタンクをプリンタにセットする」を参照してください。

岡山 サプライセンター　岡山県岡山市北区田町1-10-1　TEL.086-223-3311
東京 サプライセンター　東京都品川区南大井6-5-8　TEL.03-5763-0011
http://www.sanwa.co.jp/

10/07/JMDaki